

カトリック山手教会月報

やまて

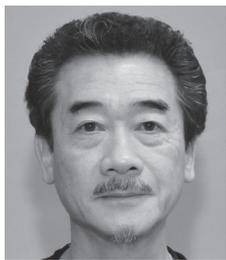


編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第607号 2020年9月13日

「集まれることの恵み」

主任司祭 ミカエル鈴木 真



この新型コロナ禍の中、皆様お元気でお過ごしでしょうか。ご存知のように、今年はこんな状況の中、教会では言わばすべてが「吹っ飛び」ました。近隣教会の状況を見ても、年間行事

のほとんどを中止か延期にしています。教会にとって「集まらない」というのがどれほど致命的か、いまさらのように実感致しました。無論その分、オンラインでという方法が広がっています。若者たちを見ていると、インターネット世代である彼らはいとも自然にネット上でつながっていますが、それでもやはり、というか、だからこそ逆に、実際に会って話すことの大切さを実感しているようです。山手教会でもようやく6月から人数制限を設けて信徒参加の主日のミサを再開しましたが、まだしばらくは皆さまにもご不便をおかけすることになるかと思えます。それでも、少しでも「集まれる」ようになったことに感謝したいと思いますし、何より、ミサ前の聖堂入り口で検温や確認をしてくださる方々、そしてミサ後に満遍なく消毒を施してくださる方々のご苦労が、それを可能にしています。そんな中、今年の復活徹夜祭と聖霊降臨にできなかった洗礼と堅信を8月15日の聖母被昇天ミサの中でようやくすることができたのは、何より大きなお恵

みでした。夏の暑い中、しかも窓を開けっ放なしで通常の主日ミサよりも多い人数で過ごした時間は、皆様にとって大変だったでしょう。今まで「集まる」ことが当たり前だったわたしたちにとって、実は「集まれる」ことがどれほど大きな恵みであるか、今こそ見つめたいと思います。まだまだ予断を許さない状況の中、少しずつ集まれるようになったとはいうものの、何かと慎重に、お互いを大切にしながら歩いてゆきたいと思います。一日でも早い事態の収束を、共に祈って参りましょう。

Faithfulness 忠実さ

—我らの歴史の今の時に必要なのは、
我らの忠実さです—



助任司祭 ダリル・ディニョ

新型コロナウイルスが発生してから6カ月以上経過しています。このパンデミックの経験は私たち全員を驚かせました。それは私たちの日常生活にひどい影響を与えました。私たちはウイルスが早く消えることを望んでいます。しかし、今までは、そのようになりませんでした。ウイルスは、まだ私たちの周りに残っています。多くの人が我慢できなくて、疲れてしまいました。しかし、私たちは待つしかないでしょう。そのために指定された時間があるかもしれません。待っている間には、多くの誘惑が出

てきます。色々なことを疑いはじめます。主が私たちを見捨てたと思われるかもしれません。しかし、課題は、「私たちの信仰が守られるかどうか」ということです。私たちの教会でいま見られることは、私たちはこのパンデミックに負けないようにしています。それは私たちの通常の礼拝方法に影響を与えますが、教会であることの新しい方法を見つけました。私たちは今まで試したことない方法に挑戦しました。2カ月前に制限付きで再開したとき、私たちは安全手順をまとめました。私たちはオンラインYouTubeと対面の両方のミサを経験しています。重要なのは、このウイルスが私たちを失望させないことです。しかし、問題は残っています。私たちはこのパンデミックと共存しているので、「私たちの信仰が守られるかどうか」です。

祖父から小さなコップをもらった少女の物語があります。

少女は何か特別なものをコップに見つけることを期待していましたが、少しの土しか入っていませんでした。少女の祖父は彼女のティーポットを取り、水でいっぱいにしました。「この小さなコップに毎日本水をかけると約束したら、何かが起こるでしょう！」と彼は少女に言いました。少女には意味が分かりませんでした。約束をしました。最初のうちはコップに水を注ぐことを気にしませんでした。日が経つにつれて、それを行うのは難しくなりました。しかし、少女は約束をちゃんと守りました。そして、3週間後のある朝、コップに2枚の小さな緑色の葉っぱが現れました。祖父は「人生はどこにでもあり、最もありえない暗い場所に隠されている」と話しました。すると少女は「私に必要なのは水を与えることだけですか」と尋ねました。祖父は「いいえ、我が孫娘、必要なのはあなたの忠実さだけです」と答えました。

必要なのは私たちの忠実さだけです!

皆さん、私たちの真ん中のパンデミックにもかかわらず、人生はまだここにあります。おそらく隠れているかもしれませんが、それほど明白ではないか

もしれませんが、人生はまだここにあります。しかし、必要なのは神への私たちの忠実さだけです。

† 神様のめぐみが豊かにありますようにとお祈りします。

※ダリル師からは日本語で原稿をいただきました。

(編集部)

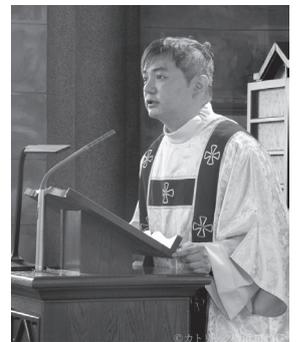
実習と助祭叙階のご挨拶

助祭 ルドヴィコ・茨木 西村英樹

山手教会の皆さま

いつも私たち横浜教区の神学生のため、お祈りとご支援をいただき、誠にありがとうございます。

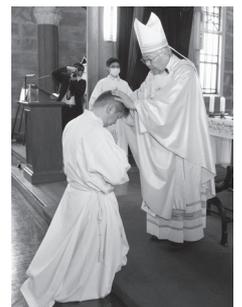
今年度から、こちらで司牧実習をさせていただきますルドヴィコ・茨木 西村



英樹です。コロナウイルスの影響により、本来4月からお世話になる予定でしたが、6月下旬からのスタートとなりました。いまだかつてない事態の中、実習を受け入れてくださった主任神父様、信徒の皆さまには、本当に感謝です。

また、おかげさまで7月4日(土)、上杉優太神学生とともに、助祭叙階の恵みを受けることができました。今は唯々、うれしいばかりで奉仕の機会をいただく日々に、充実と喜びを感じております。これから更に、司祭叙階に向け、よい準備を新たに進めていくことができればと思っております。ミサも教会活動も制限される中ではありますが、できる限りの奉仕をさせていただければ幸いです。

助祭叙階を受ける当日の朝、今までの自分と違う何かを感じていました。お世話になった神父様、シスター、帰天された大切な家族、出身教会や実習先の皆さま、また山手教会の信徒の皆さまからの祈りの力をひしひしと感じておりました。助祭になってから、何度か



山手教会のミサで助祭奉仕をさせていただきました。説教も何度かさせていただきました。緊張いたしました。皆さま温かく見守っていただき、また心を開いて聞いてくださったこと、感謝です。

入信式および堅信式

猛暑の中、新型コロナウイルス感染症防止対策として延期していた入信式と堅信式が8月15日(土) <聖母被昇天の日>にラファエル梅村昌弘司教主司式によるミサの中で執り行われました。

なお、感染症防止のための人数制限により、ミサの参加者は受洗者、受堅者、代父母など関係者のみに限られました。

受洗者と受堅者は下記の方々です。(順不同・敬称略)

<受洗者>	<洗礼名>
青木 真理	マリア・マグダレーナ
新木 友望	マリア・ラファエラ
荻原 正樹	ヨハネ
奥原 智代	ローザ
奥原 微朗	レオナルド
奥原 彩雲	ガブリエル
菅野 真愛	クリスティーナ
紀國谷由佳子	マリア・ベルナデッタ
黒岩 賢司	フランシスコ
小西 敏久	ラファエル
小山 弥生	マリア・クララ
世界 孝二	フランシスコ
世界 景子	マリア・フランチェスカ
世界 輝	ミカエラ・アフロディーテ
高田 綾子	マリア・セシリア
高橋 美緒	エリザベト
高橋 佳子	マリア・ラファエラ
武内 千秋	ローザ
田中 俊之	ガブリエル
田中 康裕	使徒ヨハネ
津久井 暁子	アンジェリカ・ジェローム
徳永 幸恵	マリア
中野 説子	キアラ

仁井田 一冴	ミカエル
藤田 忠相	ルカ・マリア
本郷 せつ子	マリア
宮代 成美	アンナ・マリア
渡辺 公乃	アンナ
渡辺 琳才	ブリジッタ

<受堅者>	<堅信名>
藤田 和士	ミカエル・ポンチアノ
村松 励一	パウロ
Allen Osamu Karasawa	Neot
Armandas Jonas Balcytis	Augustine
Christopher Lee Fishburn	Christopher
Parah Fishburn	Faustina
Darleen Jhaizelle C. Platon	Michael
Jonathan Bethune	Moses the Black
Takahashi Josephin Bandoma	Zoe
Stephanie Danielle McIntyre	Catherine of Alexandria



洗礼



堅信



全員で祝いました

(編集部 撮影：田中麻子 土方芳人 文：土方芳人)

IC大人の洗礼式と子どもの初聖体

今年新型コロナウイルス禍のど真ん中で山手教会の国際コミュニティー(IC)が、二つの大事な秘跡儀式を行うことができました。一つは、大人の洗礼および改宗式でした。もともとは復活徹夜際で行う予定でしたが、緊急事態宣言が発出されたことにより急にごミサがすべて中止になり、もうできないと思っていました。しかし、おかげさまで人数が7人でしたので司教様の許可を得て、キジト神父がこの儀式を信徒館で本人たちと代父母だけのミサの中で執り行うことができました。カトリックになる大人のプログラムは英語で言うとRCIAと呼びます。担当者はタミーさんとミシェル修道士でした。タミーさんの夫であるクリスチャンさんは、その日にプロテスタントからカトリックになりました。ただし、彼は復活祭のすぐ後にメキシコに転勤になりましたので、お二人は日本を去りました。クリスチャンさんと同様に、この日にプロテスタントからカトリックになったのは、ジョナサンさん、パラーさん、アレンさんでした。洗礼を受けたのはクリスさん(パラーさんの夫)、チャーリ君(クリスとパラーさんの息子)、ステファニーさんでした。皆、アメリカ人かアメリカと深い関係を持っている人たちでした。司教様がいらっしゃらなかったのも、皆さんは堅信を8月15日に日本人の信徒たちと一緒に受けることになりました。この洗礼のミサはキジト神父の国際コミュニティーの司牧として最後のミサでした。

タミーさんがいなくなったので、現在はミシェル修道士が単独でRCIAの担当者となっています。



子どもの初聖体



従来は、国際コミュニティーの初聖体式を6月の半ばに西洋式の学期が終わる前に行います。今年は、新型コロナウイルスの影響で日曜学校を教会でできなくなったため、すべてオンラインになりました。子どもたち、両親たち、先生たちは、皆、ズームアプリを使うようになりました。初聖体のクラスは7人で女の子は4人、クロエ、リーア、ユウイ、ネレ、男の子は3人、サミュエル、コウジ、ジェルジーです。オンラインの初聖体は不可能ですので、先生のマアンさんは悩んでいました。結局、彼女は課題を国際コミュニティー委員会(ICC)にかけました。コミュニティー司牧に任命されたばかりのダリル神父の初めての委員会でした。その結果、7月12日(日)のミサのときに行うことにしました。全員の人数が40人に限られていたので、初聖体を受ける人たち以外は、その家族と先生たちしか参加できませんでした。白い服を着た子どもたちは、この宗教人生の中にある大事な段階を超えることができ、とても喜びました。国籍は、いろいろで、ドイツ、ポーランド、チェコ、フィリピン。日本の二重国籍を持っている子どもも何人かいました。

式後にマリア像の前に皆が集まって、子どもたちと先生たちは感謝の祈りをささげました。

来年度のために先生たちはミシェル修道士とアレンさんを囲んで、新しい子どもたちを信仰の道に導く準備をしています。



(ICリーダー ピエール・スベストル)

※ピエールさんからは日本語で原稿をいただきました。

(編集部)

信徒の皆様へ

久しぶりに『やまて』が発行される9月半ばには、少しは過ごしやすくなっているでしょうか。2020年の夏、本当なら東京オリンピックが開催され、賑やかで楽しい夏になるはずでした。

1月に初めて日本で新型コロナウイルス感染者がわかったころ、まだまだ私たちは対岸の火事と思っていました。2月には、少し迷いながらも遠出をしたり、公共交通機関も利用していました。3月からの毎週の変化と色々な情報に、皆さまも振り回されるような不安な日々を過ごされたことと思います。教会委員会としても策を練らなければと、鈴木師、委員会のメンバーと色々考えた結果、3月の半ばからは、ご高齢の方の安全を守るため65歳以上の信徒の方にはミサへの参加をお控えいただくことにしました。4月7日には政府から緊急事態宣言が発出され、聖週間は信徒が参加できず動画配信のみという今まで経験したことのない事態となっていました。緊急事態宣言の間、ミサは動画配信のみでしたが、解除後は委員会のできるだけの予防対策を考え、皆さまには6月20日から人数制限しながらも参加していただけるようになりました。

新型コロナウイルスは人類にとって未知のもので、「正しくおそれて生活する」と言われても何が本当に正しいのかわかりません。どんなに予防に努めても完全と言うことはないでしょうが、三密を避け、マスク着用、手洗いなどそれぞれができることを今後も気を緩めることなく続け、皆でこの困難を乗り越えていきたいと思えます。

一日も早い終息と皆さまのご健康を祈ります。

(教会委員会 委員長 太田康子)

ガールスカウト85団「夏の思い出」

今年の夏は、“新型コロナウイルス感染症”のため、色々我慢しなければならぬ年となってしまいました。いつものキャンプが行えませんでした。スカウト3人と保護者の方を含めた「ファミリーデー」として、三溪園での園内クイズに挑戦しました。

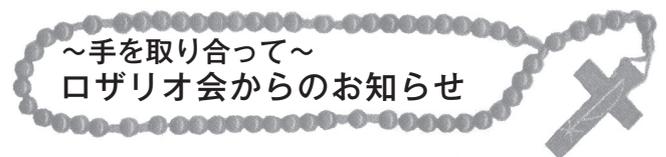
暑い中、心地よい風に守られ、身近な場所でしたが、新鮮でチョットした



旅行気分が味わえました。緑いっぱい、新型コロナウイルスの影響で入園者も少なく、ゆっくり見学できました。三密を避けての活動で体温・消毒・マスク着用と注意をしながら一日を過ごしました。

7月から始めた集會も、ゆっくりと進めています。教会の周りのお花もたくさん見つけました。まだ暑い夏が続きますが「神に感謝」の日々です。スカウトたちがミサに参加できる日が近いことを願います。

(ガールスカウト神奈川85団 梅田啓子)



新型コロナウイルス感染拡大によって、教会もいまだかつてない経験をしています。復活祭での入信式も、8月15日の聖母被昇天のミサまで延びました。それも受洗者、受堅者、代父母、数人の関係者のみの参加で行われました。私たちロザリオ会、お祝いのカードを贈ることしかできませんでした。でもマリア様の祝日に洗礼を受けられた方には、きっと生涯を通じてマリア様のお恵みがより多く注がれることと思います。ロザリオ会も、現在は皆さまと会う機会もなく、また活動らしいことも何一つできません。それでも時折、元町や教会で、ロザリオ会の方、信徒の方にお会いすると、とても幸せな気持ちになり、立ち話がついつい長くなってしまいます。そんな時、教会、ロザリオ会、家庭会の存在に感謝します。ただ祈ることしかできない日々ですが、この試練の中から新たなよきものが生み出せますようにと願うばかりです。ミサで皆さまにお会いできる日を心から待ち望んでおります。

(ロザリオ会 会長 山本紀志子)

2020年8月度教会委員会議事録

日 時：2020年8月2日（日）13：15～15：45

場 所：教会ホール

議事内容（議事進行：太田委員長）

1 開会の祈り

2 主な審議確認検討事案 ※順不同

(1)今後のミサに関する現況と今後の見直しについて

*土曜日と日曜朝は2グループ、日曜昼は3グループに分けて分散参加中。

*天候にもよるが、毎回平均して定員40人に対して10人程度少ない参加人数実績。

*英語ミサは毎回40人になるように担当者が調整。

・新規コロナ感染者の増加に伴うミサ参加継続の可否および今後の対応について。

【審議結果】

①緊急事態宣言発出の場合は動画配信のみのミサにする（お知らせに書いておく）。

②三役が神奈川県および横浜市の状況を注視して毎週日曜日までに判断し、中止の場合は翌月曜日に参加者リスト宛てに一斉連絡。

③現在配布しているミサ参加票は廃止し、今後は今週のお知らせチラシおよびホームページに参加可能グループ名を告知、聖堂扉付近にもカレンダーを掲示。

④9月以降の11:30ミサに「求道者」用の枠を新設、事務所にて申込み受付開始。

(2)10/10（土）ヨゼフ会講演会（片柳師）再々延期の要望について

【審議結果】

・今回はヨゼフ会長名ではなく「教会名」で丁重に、再々延期を申し入れる。

(3)敬老会9月開催可否について

【審議結果】

・開催中止→絵はがき印刷発注納品済み（シルバーケアグループ担当）、追記として敬老会中止の件を事務所で1行印刷して郵送。

(4)横浜みこころ幼稚園からの聖堂使用希望について

*9月以降聖堂使用希望あり。

*目的:始業式(9月)、神父さまのお話、七五三(11月)。

*人数:50～60人。

*使用時間:30分くらい。

*使用OKの場合、掃除方法を教えてほしい。

【審議結果】

・使用承認→教会掃除方法をお伝えする(11:30ミサ・掃除方法)。

(5)セントジョセフ追悼ミサについて

*毎年9月21～23日の祝日実施。

*今年も9月22日(火・祝)使用希望。

*人数:例年40人未満(海外からの参加者もあり)今年追悼ミサ自体を行うか延期するかについては、今後話し合う予定。

【審議結果】

・教会外から使用依頼の場合、100人以上はお断りし、不特定多数の参加者がある場合には、名簿提出必須ルール決定。

・今回は平日に日程変更可能かどうかを先方に聞く。

・今後事務所休業時はお断りする(平日のみ可能とする)。

(6)事務所休業時(祝日)の聖堂およびホール開館時間について

【審議結果】

・事務所休業時は聖堂もホールも閉鎖。

(7)各委員会、各活動、各講座の9月再開可否

【審議結果】

・コロナ感染状況が好転していないため9月再開は見送る(お知らせに載せる)。

・ICCはオンラインで講座を行う予定。

(8)テレジア像献金箱移動

*聖堂に入って右手奥の現況では献金箱が目立たない。

*死角になっているため保安上もよくない。

*テレジア像献金は福祉委員会を通して福祉に役立っているが昨今減少している。

【審議結果】

・聖堂中央最後尾ベンチ付近へ移動する。

3 今後の主な活動予定と報告事項 ※順不同

(1)連絡網整備について

・ホームページに数百人のメアド登録済み。

・テストメールを近日配信予定(情シ委)。

- ・メール内容は三役で別途検討ら今後は事務所。
 - ・仕組みが安定したがメール発信対応。
- (2)8/15 (土) 入信・堅信式
- ・洗礼30人 (幼児洗礼3人含む)、代父母26人、堅信外国籍8人+代父母8人、日本人堅信2人 (共同祈願担当)、付き添い9人、奉仕5人、講座担当者2人、合計92人参加。
 - ・基本は自席のみ、洗礼、塗油、聖体拝領の時のみ祭壇へ。
 - ・記念撮影は自席から後ろを見て聖歌隊席からカメラ撮影 (『やまて』編集部担当)。
 - ・記念品や証明書などは席に置いておく。
- (3)みこころコーナー新設時の工事不備対応について
- ・岡山建設の担当者が資料持参、口頭で回答あり。
 - ・天井近くから外側に配水管を這わせ現状復帰するという回答内容。
 - ・現状復帰案の場合は配管がむき出しになるため、壁裏に設置して意匠性を保ちたい。
 - ・その場合は別途費用が発生するため見積りを取る。
- ◆結論：費用には利益を引いたものを見積もるよう
に依頼する、口頭回答は全て文書にして記録を残す⇒岡山建設に文書回答作成依頼。
- (4)電気会社について
- ・司教館では、環境のために出光社を選択した経緯あり。
 - ・司教館にあわせてCo2削減プランに変更する。
- (5)月定献金、一粒会会費の口座振り込みについて
- ・献金の処理フローチャート説明。
 - ・振替口座を申請準備中、今後は振替口座を利用し振り込んでもらえる仕組み。
 - ・月定献金を納めている世帯は約600件。
 - ・一粒会費、献金額、管理番号、何月分か、を必ず記載してもらいたい。
 - ・詳しいことは仕組みが整い次第 (10月頃)、信徒に向けてお知らせする。
- (6)事務所コピー機について
- *カラーの状態が悪い。
 - *部品はすでに交換不可。
 - ・現機種：2009年購入 (1,400,000円)。
 - ・リースにて新機種への交換を検討したい。
- ・2社から見積もり回答あり。
- ◆結論：(株) ルークから購入し、クレディセゾン社とリース契約を結ぶ。
- (7)主日ミサ配信時ICからの祈願要請について (鈴木師)
- ・小教区の主日ミサでは追悼の意向を入れないミサを少なくとも一つ設定しなくてはならない。
 - ・ICからの希望者が多いので、動画配信の英語ミサ (9時30分) では追悼の意向を入れる場合がある。
 - ・11:30ミサでは追悼の意向は入れない (土夜、日朝のミサでは可)。
- (8)コロナ収束までの葬儀のガイドラインについて
- ・ガイドラインを遵守し「施設利用報告書」を事務所に提出するよう伝える。
- (9)教会学校
- ・7/22 (水) に横浜みこころ幼稚園との打ち合わせを実施。
 - ・幼稚園の様子や清掃(消毒)の方法などを伺った。
 - ・8/16 (日) リーダーミーティング実施予定、今後の対応を話し合う。
 - ・9月第1週から洗礼初聖体クラスに限定して教会学校再開予定。
 - ・9/27 (日) 11:30は子ども向け説教。
- (10)教会報やまて9月号から再刊決定したが、10月以降は不定期発行予定(行事があるときのみ発行)
- 4 提案
- ・欠席者のためにも配付資料はAgendaとともに事前配信してはどうか。
- ◆結論：9月教会委員会から実施し、欠席者は通読の上、意見を事前に議長に伝える。
- 5 主任司祭のお話
- ・サポートチーム神奈川主催『葬儀講座』募集紹介。
 - ・事務所対応時間は今後も10時～15時とする。
 - ・平日朝ミサは当面なし、ご了承ください。
 - ・9/27 (日) 14時～教区青年の集まり (ネットワークミーティング) でホール使用予定。
- 6 次回教会委員会
- 9月6日 (日) 13時15分から (15時半終了予定)。
- 7 閉会の祈り
- (総務担当 田中麻子)

2020年9月・10月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主 日	聖 歌					聖 歌 隊	時 間	奉 仕 者				
		ミサ曲	入祭	奉納	聖体拝領	閉祭			オルガン	先 唱	聖書朗読	詩編朗唱	
9月20日	年間第25主日							前日pm5:00	藤 沼	山本(康)	中島(晶)	志 村	
								7:30	渡 邊	末 澤	石川(喜)	中 村	
								11:30	中 川	村田(義)	石 田	岩 隈	
27日	年間第26主日							前日pm5:00	村 松	田中(麻)	佐藤(篤)	阿 部	
								7:30	原 田	亀 井	古谷(浩)	藤 本	
								11:30	米 沢	藤 原	吉 野	龍 野	
10月4日	年間第27主日							前日pm5:00	渡 邊	竹之内	新井田	島 田	
								7:30	手 塚	石川(喜)	古谷(信)	二 宮	
								11:30	太 田	佐藤(篤)	鈴木(理)	大 澤	
11日	年間第28主日							前日pm5:00	村 松	斎藤(悠)	鈴木(明)	福 田	
								7:30	太 田	二 宮	東海林(珠)	時 久	
								11:30	米 沢	遠 藤	中 川	上 田	
18日	年間第29主日							前日pm5:00	村 松	山本(康)	中島(晶)	志 村	
								7:30	渡 邊	末 澤	石川(喜)	中 村	
								11:30	米 沢	村田(義)	石 田	岩 隈	
25日	年間第30主日							前日pm5:00	藤 沼	田中(麻)	佐藤(篤)	阿 部	
								7:30	原 田	亀 井	古谷(浩)	藤 本	
								11:30	中 川	藤 原	吉 野	龍 野	

- (注) ・当分の間、ミサ中の聖歌は歌われません
 ・子どもともにささげるミサありません。(ただし、子ども向けの説教がある場合があります)
 ・日曜日9:30(英語)、11:30(日本語)ミサは動画配信されています。

編 集 後 記

新型コロナウイルス感染症防止対策として山手教会の行事を今年4月から中止したため、教会報『やまて』も5月号から休止していましたが、8月15日に執り行われた入信・堅信式などを信徒の皆さまにお知らせするため、久しぶりに発行しましたが、感染症の終息を見通せる状況にはありません。教会委員会では、今後についても例年実施していた教会の主な行事を感染症予防の観点から中止や延期にしています。『やまて』は、横浜教区や山手教会の行事などを信徒の皆さまにお知らせする使命があり、感染症予防対策をしながら、できる限り発行していく考えでいます。

今回から印刷会社に変更になり、柔軟な編集が可能になりましたので、将来的には特集記事などをカラーにすることも検討します。今後とも信徒の皆さまのご協力をお願いいたします。

(編集部)